

令和5年度 第2回 加古川市上下水道事業運営審議会 会議録

■日時 令和6年2月20日（火）午前10時00分から午前11時00分

5 ■場所 加古川市役所 新館10階 大会議室

■出席者 ●委員（五十音順）

足立委員、石丸委員、伊藤委員、久保田委員、瀬嶋委員、
田端委員（会長）

10 ●事務局

上下水道局 金澤局長、正中次長

お客さまサービス課 坂本課長

施設課 大谷課長、加古中西条浄水場担当課長

配水課 横山課長

15 下水道課 山本課長、田中雨水整備担当課長

経営管理課 小川課長、中川副課長、樋口経営係長

同課経営係 井口主査、上田主査、守屋主事

■次第

20 1 開会

2 事務局紹介

3 議事

(1) 【水道事業】

加古川市水道ビジョン2028 中間検証報告書について

25 (2) 【下水道事業】

加古川市下水道ビジョン2028 中間検証報告書について

4 閉会

■配付資料

30 1 次第

2 令和5年度 加古川市上下水道事業運営審議会 出席者名簿

3 令和5年度 加古川市上下水道事業運営審議会資料（水道）

4 前回決算説明用資料

5 加古川市水道ビジョン2028 中間検証報告書

35 6 加古川市下水道ビジョン2028 中間検証報告書

■傍聴人 なし

議事 (1) : 【水道事業】加古川市水道ビジョン 2028 中間検証報告書について

事務局：それでは、議事に移りたいと思います。加古川市上下水道事業運営審議会規程
第4条第1項の規定に基づきまして、会長が議長を務めることになっておりま
5 す。議事においてご発言される場合は、恐れ入りますが挙手の上、ご発言をお
願いいたします。担当者が挙手いただいた際にはマイクお持ちいたしますので、
マイクを通してご発言いただきますようよろしく願いいたします。それでは
田端会長よろしく願いいたします。

会 長：最初に少し私の方からご挨拶をさせていただきます。まず年度末大変お忙しい
10 時期にも関わらず、お集まりくださりましてありがとうございます。

さて、この1月1日に能登半島地震がございまして、地形の大きな変化を伴う
何千年に1回と言われるような地震でした。そうするとやはり、地中に埋まっ
ている水道管などのインフラ設備もことごとく大きな影響を受けているとい
うことで、特に上下水道を取り扱うこの審議会にとってみても、非常に課題の
15 ある現象があったということに改めて感じております。現在も多くの皆様がま
だ完全に水道復旧しておりませんので、大変不自由な思いをされています。水
のありがたみを改めて感じるとともに、復旧にあたっておられる行政職員、そ
れから上下水道事業者の皆様をはじめ、復旧にあたっておられる全ての方々に
感謝申しあげたいと思います。

ところで、私は交通も研究分野としていますが、交通や上下水道は都市計画の中
にどういうふうに組み込んでいくのかを考えなければならない時代になっ
てきた、と思っております。やはり都市づくりの中の「機能」としての上下水
道であると、今回の能登半島地震を見て感じたところでございます。本日は経
営問題をはじめとし、多岐にわたる議論をしていただくわけですが、今後はこ
25 の上下水道をめぐる問題というのは、上下水道単体ではなく、都市計画という
大きな範囲で考えていかなきゃいけないと感じたところでございます。

さて、本日の議事でございますけども先ほど事務局からご説明ありましたよう
に2点ございます。1つ目が「加古川市水道ビジョン 2028 中間検証報告書」
で、前回から引き続きということになります。同じく2つ目が「加古川市下水
道ビジョン 2028 中間検証報告書」についてとなっております。こちらも前回
30 から引き続きです。前回、下水道ビジョンのところは、少し時間が足りない中
で、もう少し議論したかったところもあったので、もしお気づきの点があれば
その点もご指摘いただければと思います。進め方ですが、前回の審議会
で皆様からいただいたご質問に対して、まずはご回答いただきたいと思
35 っております。その上でまた再度、皆様からご意見を賜りたいと思います。また、前回の審議
会での内容を反映した形で、追加修正を報告書にさせていただいておりますので、
これにつきまして、事務局からご説明いただきます。そうしましたら、「第1回
運営審議会質問回答関係資料」に沿って事務局よりご説明をいただきたいと思
います。よろしく願いいたします。

事務局：それでは前回、委員の皆様よりいただいたご質問について順にご回答させていただきます。まず「第1回運営審議会 質問回答関係資料」をご覧ください。

5
まず1点目ですが、前回、令和4年度決算に係る説明を差し上げる中で、営業外収益の雑収益について、「にごり水に伴う損害賠償費用の収入があったことに起因し、前年度よりも雑収益が増収となった」との説明をさせていただきました。それに対し、「にごり水に伴う損害賠償費用の収入というのは、本来であれば生じないものですので、仮にその収入がなかったと仮定した場合の経常収
10
支比率への影響はどうなるのか」というご質問をいただきました。回答につきましては事前にお送りいたしました資料「別紙1」をご覧ください。令和4年度に収入したにごり水にかかる賠償金は、トータルで22,642,119円ありましたが、うち18,827,061円は令和3年度に発生したもの、うち3,815,058円は令和4年度に発生したものです。各年度の支出の中ににごり水に係る我々の費用負担した金額が含まれておりますので、その同額を同年度で収入すると仮定して計算を行いました。その結果、別紙1の表のとおり、令和3年度につ
15
いては0.4%経常収支比率が上昇し、令和4年度については0.4%低下するという結果になっております。

では続きまして2点目ですが、こちらも令和4年度決算に係る説明を差し上げる中で、「事業収益が逡減傾向、事業費用が逡増傾向にあることを踏まえ、今後、当市においても、料金改定を検討する段階に来ている」という説明をさせ
20
ていただきました。それに対し、「料金改定を検討するのであれば、料金を単に上げるのではなく、住民の理解を得られるように、様々な経営努力をしてもなお、経営が苦しいので料金改定をさせていただきます、といったようなストーリーが必要だと考えます。局はどういったストーリーを描いておられますか？」というご質問を頂戴しました。回答につきましては、事前にお送りいたしました
25
資料「別紙2」をご覧ください。

まず、加古川市水道事業会計の現状を分析した際、事業収益については、市内事業者の水源転用と人口減少に伴う水需要の減少により、料金収入は減少して
30
いくことが予想されます。また、事業費用については、水道施設の老朽化に伴い、更新費用は増大傾向にあり、それらに加えて近年の物価上昇の影響がありますので、その傾向はより強いものとなっております。一般家庭であれば、収入がなければ支出を抑制するというのが本来ではあるんですけども、会長も冒頭でおっしゃられたとおり、さきの能登半島地震の被害状況を見ましても、やはり、施設の耐震化や老朽化の更新等は、基本的には欠かすことができない重要なものであると考えております。もしこのままの状態が続いていくと仮定
35
すると、「現金が不足するかもしれない」、「経常損益及び純利益が赤字に転落するかもしれない」、そして、「企業債残高対給水収益が大幅に上昇するかもしれない」といったような懸案事項が生じます。もちろん、我々も経営状況が悪化していくのを黙って見ているわけにはまいりませんので、現金不足に対応するため、企業債充当率の引き上げを実施したり、建設改良積立金、いわば貯金

を切り崩して投入したり、支出を抑制するためにダウンサイジングの検討や、効率的な発注方法により経費を少しでも削減したりといった対応策は講じております。しかし、それでもなお苦しい状況に陥りそうだ、というのが我々の見解でございます。

5 今、私が口頭で申し上げました内容ですとか、この図をもっと視覚的に、論理的に示すものとして、経営戦略がございます。現行の経営戦略は令和2年2月に策定されたものであり、新型コロナウイルスの発生等は想定されておられません。そのため、現在の実態とは少し乖離が生じていると言わざるを得ません。つきましては、令和6年度に経営戦略の改定を実施したいと考えております。10 最新の社会情勢を反映した経営戦略に改定し、今後の水道局の経営状況をより正確に把握いたします。そして、水道局として、経営上のあるべき姿を再度設定します。その結果、その到達すべきゴールにたどり着く手段として、料金改定が必要だと判断されたのち、料金改定に向けての検討を進めたいと考えております。

15 質問に対する回答につきましては以上です。

会 長：どうもありがとうございました。今、ご回答いただいたわけですが、まずは元のご質問をされた委員の方からコメントいただいて、その他の方もよろしければご意見賜りたいと思います。

委 員：はい。令和6年からの新たな経営戦略ということで、具体的な動きはこれからだとよくわかりました。今おっしゃっていただきました中で、細かいところですけれども、料金改定に向けて説明をする順番を吟味していただければと思います。やはり、最初に考えるのは経費削減、ダウンサイジングの検討等、支出の抑制を最大限検討したんだけれども、難しい。その上で、いわゆる貯金の切り崩しですね、この場合であれば建設改良積立金といったようなものを切り崩しても難しい。だから、借金ですね、企業債の充当率を引き上げる。このあたりの対応策の順番が大切だと思います。25

その上で、令和6年につきましては経営戦略を策定する。キャッシュについては現金をどのくらいまで残しておくのか、企業債を借りる前にこれだけ色々な支出を抑えてきたっていうのも、きちんとアピールしておいた方がいいと思います。料金改定というのは住民の方にとってすごくデリケートな問題です。そのため、最初に「料金改定に至る前にこれだけ努力した」というのは、丁寧に説明した上で料金改定に踏み切っている、ということで、丁寧に対応をお願いいたします。30

会 長：ありがとうございました。前日も住民説明の丁寧さを委員から強調いただいたところがございます。改めてそういったところがございますが、他の委員の皆様方から、今の委員のコメントも含めて何かご意見、ご質問があればお願いします。35

1番目の問題については、にごり水の影響がなかったと仮定し、計算をしたとしても、大きな影響はないということがわかったということで、改めてご説明

いただいたところでございます。

そうしましたら、まず、前回のご質問に対する回答につきましては、これで終わらせていただきます。

次に修正いたしました「加古川市水道ビジョン 2028 中間検証報告書」について、事務局からご説明をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

事務局：それでは、「水道ビジョン 2028 中間検証報告書」の修正点について、ご説明をさせていただきます。事前にお送りさせていただきました資料の「ビジョン 2028 中間検証報告書変更箇所一覧」とあわせてご覧ください。

まず、水道の中間検証報告書、4 ページをご覧ください。有収水量の推移を示すグラフがございますが、こちらに 2 ヶ所、コメントを追加する修正を実施しております。まず、1 ヶ所目が令和 2 年度の有収水量が見込値に比べて大きく伸びている要因をコメントで述べることにしました。2 ヶ所目については、令和 6 年度において、有収水量が前年度から大きく減少する要因についてコメントで述べることにしました。では続きまして、21 ページ、22 ページをご覧ください。第 3 章につきましては、前回、会長より、個別評価だけではなく総評が必要だというご意見を頂戴しました。いただいたご意見を踏まえ、第 3 章に、第 4 節として中間評価の総評を設けました。そのことに伴い、もともと 6 ページにありました、各指標の進捗状況の表を、21 ページに移動させ、6 ページには、別の基本理念等を示す表を設けました。

では、中間評価の総評についてご説明いたします。まず、14 の指標のうち、目標に 1 歩届かなかったという評価をされた項目は、全部で 6 項目ございました。この評価結果を 3 つの方針別に見ていくと、安全で良質な水道水の供給においては、基本的には安全な水を供給し続けることができおりましたが、期間中に 1 度、「カビ臭物質濃度」が基準値を超過することとなり、良質な水道水の供給という面で、目標に 1 歩届きませんでした。今後、カビ臭物質濃度の低減化を図れるよう、対策を講じていきたいと考えております。次に、「危機に強く安定供給できる水道の構築」については、浄水施設や配水地、配水管の対耐震化率は、目標達成したものの、基幹管路の耐震化率が目標に届きませんでした。この他、有収率が下降するなど、目標値に達しない指標がありました。これらの指標については、後期において、目標達成に向けた対策を講じていく必要があると考えております。そして「信頼される健全な経営」については、経常収支比率、料金回収率のいずれも目標を達成しているなど、指標上は最も順調に見えるかと思っております。しかし、今後事業収益が減少し、事業費用は増加することが予想され、経営状況は一層厳しくなることが見込まれるため、これから最も大きな課題を抱える指標だと考えております。現状で安心することなく、将来の経営状況を見据え、早めに対応することで、健全な経営を維持して参ります。そして最後に総評ですが、目標に 1 歩届かなかった項目がありますが、目標に大きく届かず、計画の見直しが必要となる項目はありませんでした。未達成項目は残るものの、概ね達成できているものと評価しました。ビジョン

の残る期間について、目標達成に向けた工夫や取り組みを実施して参ります。
以上が「水道ビジョン中間検証報告書」にかかる主な変更点です。

5 会 長：はい、どうもありがとうございました。前回もう少し説明が要るんじゃないか、
というご意見なども踏まえて、この委員会ではご説明いただいたわけですが、
10 も、やはり市民向けに公開されていくものですから、そのあたりを反映いた
だいたということでございます。それから総評については、やはり、この表を見
て皆さんいろんなことを思われますので、「委員会としてはどうなのか」とい
15 うところで、総評を入れていただくという形で調整いただきました。以上につ
きまして何かご質問ご意見があればお願いしたいと思いますが、いかがでしょ
うか。修正点から見ていただいて、もしそれ以外のことでお気づきの点があれば、
ページ番号を指摘の上、ご意見賜ればと思います。いかがでしょうか。
ちなみに私からひとつ、言葉だけの問題なんですけど、最初の4ページの表であ
20 ります「巢籠もり需要」という言葉。これは一般行政用語としてあるんでしょ
うか。メディア等ではこういう言い方をしていたとは思いますが、行政
報告書になるので、正確な表現かどうか気になったということでございます。
25 こういう言葉のところでも結構です。では、どうぞ。

委 員：12ページになります。別に修正を求めているわけではありません。ただですね
こちら上水道のお話しているんですけども、12ページにあります前期の検
20 証によるコメント欄ですね。当初、下水道の未普及解消に向けた整備をやって
いますと、でそのあと下水道関係の文言があります。これはあくまでも上水道
のお話ですので、このあたり少し整合性ですね、上水道の話で整理した方がい
いのか、それともやはり下水道を入れていくのであるならば、未普及解消によ
って何が上水道に影響をもたらしているのか。このあたりのストーリー、この
25 話だと下水道でとどまっていますので、上水道の問題であるならば、上水道の
問題を明らかにしてもいいかなと思いました。その上でこちら下水道の方、ご
ざいます。下水道の方には、このあたりが逆に書いていないような印象を受け
ますので、このあたりは少し整理してもいいかなと思います。だからといって
30 今すぐ何か修正して欲しいとかそういうことではありません。

会 長：ありがとうございました。趣旨としては、下水道の未普及整備が原因だとい
35 うことはわかるんですけども、やはりこれは上水の間接報告であって、下水のこ
とでそれがどのように影響をしたのかというのはもう少ししっかりと書かれた
方がよろしいんじゃないかということだと思います。文章の修正等をお願い
したいと思いますので、よろしく申し上げます。趣旨はご理解いただいている
と思いますので、よろしく申し上げます。他何かご質問ご意見があればお
40 願ひいたします。

委 員：「巢籠もり需要」、たった今、ネットで調べたんですが、経済産業省でも消費者
庁でも使用されております。漢字、ひらがな両方使っているのでもどちらでもよ
45 さそうです。

会 長：ありがとうございます。他、いかがでしょうか。あと総評の内容ですね。「△」

が6つあるんですけども、一部は先ほどのご説明でもあったように、カビ臭が出たというのが2点、「安全」のところに出てきています。これらはかなり一時的なものだったということでございます。あとは先ほど委員からご質問があった「基幹管路の耐震化率」は遅れてはいるんですが、これは十分挽回可能な範囲かな、というデータですので、大丈夫だと思います。そういうこともあって、総評的には「×」はないということで、「概ね目標達成できている」という表現をさせていただいています。これらも含めて何かご質問、ご意見があればお願いします。先ほどの「基幹管路の耐震化」についてはもしかしたら、水道局の枠を超えていろんな議論が出るかもしれないですね。先ほど申し上げた能登半島地震などを見ると、もしかしたらもっと耐震化率ももっと高くなくとも大丈夫なのか、という声が出るのかもしれない。ただ、これらは先ほども申し上げた都市計画とか、違った次元の話になるのかなと思っています。今回はあくまでも、「この表を見てどういう評価をするか」、という意味でいくと、このような評価になるのかなと思っています。よろしいでしょうか。では修正点について、ご意見、一部修正点以外のところもご意見賜ったので、事務局において調整可能であれば調整していただければというふうに思います。趣旨を変える必要は全くございませんので、よろしく願いいたします。そうしましたら、「水道ビジョン2028 中間検証報告書」については、以上で取りまとめさせていただきたいというふうに思います。

議事(2)：【下水道事業】加古川市下水道ビジョン2028 中間検証報告書について

会 長：それでは次に、議事の2番目でございますが、「加古川市下水道ビジョン2028 中間検証報告書」につきまして、事務局からご説明をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局：それでは、下水道ビジョン2028 中間検証報告書の修正点についてご説明させていただきます。まず、中間検証報告書3ページをご覧ください。一番下の段落についてですが、有収水量が平成30年の有収水量64,094m³であり、令和4年の有収水量が64,106m³と「微増」しているにもかかわらず、修正前は誤って「微減」と記載しておりました。そのことに起因し、文章全体が誤っていたものを修正させていただきました。また、4ページにつきましては、水道と同様、令和2年度の有収水量が大きく伸びた要因についてコメントで述べることとしたものです。続きまして、19、20ページをご覧ください。下水道事業についても、水道事業と同様に、第3章に第4節として「中間評価の総評」を設けました。そのことに伴い、もともと6ページにありました「各指標の進捗状況」の表を19ページに移動させ、6ページには、別の基本理念等を示す表を設けました。

では、中間評価の総評についてご説明いたします。まず、12の指標のうち、目標に一步届かなかった項目は4項目ありました。この評価結果を、3つの方針

別に見ると、「快適な生活環境の創出」においては、下水道普及率は近年、早期概成に向けて集中的に整備を進めていることもあり、目標値を達成できております。一方、生活排水処理率、水洗化率については、普及促進や啓発に努めているものの、目標に一步届きませんでした。これらの指標については、目標に達していないものの、着実に数値は上昇しておりますので、引き続き、目標達成に向けた対策を講じてまいります。次に、「危機に強い安全・安心な下水道の実現」については、すべての指標において目標値は達成しております。しかし、「上下水道 BCP に基づく訓練」については訓練対象者が偏っている等、実施内容に課題が残るため、目標に一步届かずとの評価としました。今後、災害が発生した場合、迅速かつ的確な状況判断ができるよう、より効果的な訓練を実施してまいります。そして、「信頼される健全な経営」についてですが、水道事業と同様に経常収支比率、経費回収率のいずれも目標を達成しており、健全な経営を維持することができております。しかし、水道事業同様に、今後の経営状況がより一層厳しくなることが見込まれるため、更なる健全経営に努める必要があります。そして最後に総評ですが、下水道においても目標に一步届かなかった項目がありますが、目標に大きく届かず、計画の見直しが必要となる項目はありませんでした。未達成項目は残るものの、概ね達成できているものと評価しました。ビジョンの残る期間について、目標達成に向けた工夫や取り組みを実施してまいります。以上が下水道ビジョン中間検証報告書にかかる主な変更点です。

会 長：はい、ありがとうございました。修正点と、それから総評の部分についてご説明いただいたところですが、何かこの点についてご質問があればお受けします。それから先ほどと同じですが、他のところで気づいたところ等あれば、この場でご発言いただければというふうに思います。いかがでございましょうか。

委 員：広報誌の発行回数の評価について、「現状」が 0 回であるにも関わらず評価が「○」になっています。一方で、上下水道 BCP に基づく訓練の実施回数は年 0 回で「△」になっています。なぜ広報誌は十分な回数の発行ができていないのに「○」になっているのでしょうか。

会 長：ご確認いただけますでしょうか。お願いいたします。

事務局：はい。ご質問いただいた件についてですが、表の「現状」という表現が紛らわしくて申し訳ありません。「現状」というのが、ビジョン策定当初、つまり平成 29 年度の発行状況、広報誌の発行回数が年 0 回という状況だったことを示しております。今、令和 5 年度時点におきましては、その隣の「中間実績値」をご覧ください仕様となっております。現状、広報誌は 2 回発行できておりますし、上下水道 BCP に基づく訓練の実施回数というのも年 2 回実施できております。なので、一応目標達成できているということで、「○」あるいは「△」とさせていただきます。

会 長：表の見方がもしかしたら誤解を呼んでいるのかもしれないですね。「現状」と

いう書き方を例えば、「計画当初値」とか、表現を少し変えていただくと、誤解が生じないかもしれませんので、それはまたご検討いただけますでしょうか。よろしいですかね。他に何かご質問ありますか。

5 委員：前回気がついていなくて大変申し訳ありません。15 ページと 16 ページにあります「ビジョン（計画）」のところについてです。ここに企業債という文言がございます。経常収支比率につきましては「企業債の発行抑制」というのは、当然、営業外費用等が入ってきておりますので、すごく良い表現だと思います。しかし、経費回収率のところ急に「可能な限り企業債発行額を減らすことで、企業債利息償還金を削減します」という表現が出てくると、住民の方から見れば、「何で急に企業債の話が？」という疑問を呈してしまうかなと思いましたので、ここをもう少し丁寧になぜ企業債利息償還金が関係するのかを、触れて

10 いただいた方がいいのかなと思いました。

15 会長：委員がおっしゃる通り、「企業債とは何ぞや」というところから、わからない方も多いと思いますので、何か工夫できそうでしょうか。市民への説明は絶対的に必要です。欄外に何か説明を設ける等の工夫させていただくことでよろしいでしょうかね。ありがとうございました。おそらく上水の方も同じ問題が生じているかと思っておりますので、同様に工夫の方よろしく願いいたします。

20 委員がおっしゃったように市民に対してしっかりと説明する。料金改定もそうなんですけど、それがなければ健全な経営ができません。そういった意味で、先ほどの広報誌を発行しているのもそういった背景があるわけですので、よろしく願いいたします。他もしご質問ご意見があればお願いいたします。いかがでしょう。

25 もし、ご質問なければ、総評のところを見ていただけますか。これも先ほどの上水と似たような結果なんですけども、「×」がないということですので、あくまでも未達成項目に対して、どう判断したかということになりますが、概ね達成しているということです。

30 これからも未達成分は何とか達成していただくようにご尽力いただきたいということとともに、目標達成したからといって安心せずに、といういつもの流れのところです。あえて申し上げますと上水と比べますと「◎」がないんですね。もちろん「○」であれば問題はないので、これについては特には触れていないんですけども、達成したからといって安心せずに、ということを改めて委員会では申し上げたいというふうに思っております。

35 特になければ先ほど委員よりご指摘のあった、欄外に説明を設けるとか、市民の方に誤解があっては困りますので表現を変えていただくことをお願いしたいと思います。繰り返しになりますけども市民向けという視点で、そのあたりを調整していただきたいというふうに思っております。

他にももしご質問ご意見がなければ、「加古川市水道及び下水道ビジョン 2028 中間検証報告書」につきましては、先ほどそれぞれ申し上げました点の調整をさせていただいて、事務局の方で修正案を作成していただくというふうに思っ

ております。

そうしましたら、以上で、皆様のご意見を賜ったわけですが、両ビジョンの中間検証報告書策定に関わる今後の流れということにつきまして、事務局からご説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

5 事務局：はい。それでは今後の流れにつきまして、ご説明いたします。本来でございましたら今回ご審議いただきました内容をもとに再度修正案を作成いたしまして、皆様にお集まりいただいた上で、ご意見を取りまとめるところではございますが、年度末のスケジュールの都合もございますので、大変申し訳ないのですが、修正案を2月27日までに郵送させていただければと考えております。

10 郵送後は、3月8日をめぐにご連絡をいたしまして、修正案に関しましてご意見の有無をお聞かせください。その後、皆様から頂戴いたしました修正案のご意見、これを集約いたしまして、会長に審議会を代表いたしまして、協議をさせていただいた上で、「水道ビジョン2028 中間検証報告書」及び「下水道ビジョン2028 中間検証報告書」の最終形をもって、加古川市上下水道事業管理者への審議会の答申として、後日、日程を設けて会長より審議会を代表して答申を

15 いただく方向を考えてございます。答申の際には、会長との協議後の最終形、これを成果物として皆様にもお送りさせていただこうと考えております。以上でございます。

会 長：はい、ありがとうございます。今後の流れということで、本来でしたらもう一度集まっていたいただいて最終案を見ていただかなきゃいけないんですが、今この時期ですし、議会もあたりとかで市役所の方も大変ですし、次のステップに向けての準備もあるということもございませう。それから、今日いただいたご意見、大きな修正点というよりも市民向けの視点で説明を付け加えて欲しいとかですな。そういった観点が主でございましたので、この点につきましては、

25 まず、先ほど事務局がご説明いただいた通りの流れで進めさせていただいて、私の方に一任いただければというふうに思いますがよろしいでしょうか。

委 員：異議なし。

会 長：異議なしということでございませうので、その通り進めさせていただきたいと思

30 います。もし他にこの点につきまして、ご質問があれば受けませうがいかがでしょうか。

それでは質問がないということでございませうので、本日の議事はここまでとさせていただきます。審議会を終了させていただきたいと思

35 います。本審議会の議事録の公表につきましても私の方に一任ということでお願いたします。

では、以上で閉会いたします、ありがとうございます。